

コシヒカリの葉色が淡めです！ 2 回目穂肥はしっかり施用！

- ・ 2 回目（出穂 10 日前、1 回目を遅らせて施用した場合はその 7 日後）の穂肥は、高温に負けない登熟のために重要です。倒伏への影響はありません。確実に施用しましょう。

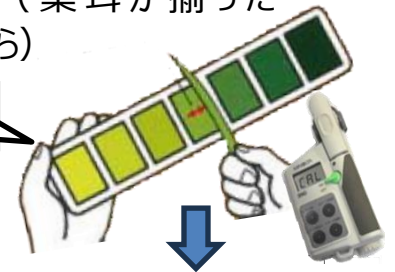
高温時に穂肥が不足すると、お米にデンプンを十分ためられずにすき間ができ、白未熟粒が発生します！

1 出穂期の葉色目標

- ・ 出穂期の葉色目標：SPAD 値 33
- ・ ただし、葉色が落ちやすいほ場等では、出穂期の葉色目標を SPAD 値 34 程度にする。

出穂の 10 日前に
（葉耳が揃った
ら）

基肥一発の場合も診断しましょう



2 葉色を診断し、2 回目穂肥の施用量を決める

- ・ 2 回目穂肥施用量のめやす

出穂 10 日前の葉色		窒素成分量 (kg/10a)	
SPAD	単葉カースケール	一般的なほ場	葉色が落ちやすいほ場等
30	3.9	1.8	2.0
32	4.2	1.2	1.8
34	4.5	0.6	1.1

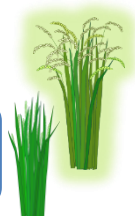
3 3 回目穂肥も積極的に施用しましょう！

- ・ 出穂 3 日前にも葉色を確認し、窒素成分量 1kg/10a 程度の施用を検討しましょう。

適切な穂肥施用で、暑さに負けない稲に仕上げましょう！

無駄のない水管理を行いましょう！

出穂
(8/4 頃)



少雨傾向が続いており、管内ダムの放流が例年より 2 週間程度早い状況です。

- ・ 漏水を防止し、水尻をしっかりと閉じるようにして、用水を大切に使いましょう。
- ・ 出穂 5～15 日後は、稲に水が最も必要な時期です。ほ場に必要な水量だけを供給するようにして、飽水管理を行いましょう。

柏 崎 地 域 農 業 振 興 協 議 会

【お問い合わせ】 柏崎農業普及指導センター (0257) 21-6263

【合わせ先】 かしわざき営農センター 21-0220 南部営農センター 41-6087 北部営農センター 45-2258